

資料 2

鶴嶺東地区まちぢから協議会防災減災部会合同防災訓練報告

令和 6 年 1 月 1 9 日

鶴嶺東地区まちぢから協議会防災減災部会

高橋夏木

1. 概要

本訓練は、令和 5 年 1 1 月 5 日、「令和 5 年度鶴嶺東地区合同防災訓練計画」に基づき、大規模地震を想定しての地域住民による避難所への避難訓練、防災関係者による避難所開設、避難者受け入れ訓練、各自治会の防災対策本部からの安否確認情報を避難所の連絡員にトランシーバーで連絡しそれを市配備職員に伝達する情報伝達訓練、および市配備職員による地域住民への「避難所生活における心構え」説明会が行われました。避難訓練への自治会参加者は防災関係者も含め 5 9 6 名で、市防災対策課から 8 名、市配備職員が 3 8 名参加され、大変満足できる結果だったと思います。

2. 訓練概要（詳細は「令和 5 年度鶴嶺東地区合同防災訓練計画」参照ください）

1) 開催日時 令和 5 年 1 1 月 5 日、8:00 避難所開設準備開始、11:30 終了

2) 場所 鶴嶺中学校、鶴嶺小学校、浜之郷小学校、円蔵中学校、円蔵小学校、鶴が台中学校、鶴が台小学校の各体育館

3) 運営スタッフ

- ・茅ヶ崎市防災対策課 8 名
- ・茅ヶ崎市避難所配備職員 3 8 名
- ・防災リーダー 1 0 4 名
- ・民生委員 1 6 名

4) 地域住民参加者 4 7 6 名

5) 参加者総勢 5 9 6 名（内訳は表 1. 1、表 1. 2 を参照ください）

6) 訓練テーマ

- ①避難所開設（受け付け設置、避難者待機場所設置、市避難所本部設置、避難所説明会場所設置）
- ②避難者受け入れ（入所者登録を各自治会にて対応）
- ③避難所生活での心構え説明会（市配備職員にて対応）

3. 訓練結果（参考 1 「訓練写真」を参照ください）

1) 避難所開設訓練

- ・学校正門の解錠は開始時刻 8 : 0 0 前に学校の日直代行員が実施し、入場に支障はありませんでした。
- ・避難所訓練場所である体育館、トイレの解錠、照明点灯は、当方より日直代行員に指示することで特に問題ありませんでした。
- ・避難所開設の資機材は、あらかじめ学校側に必要数準備してもらい、置き場所も指定してもらったので、特に問題なく設置できました。
- ・会場のレイアウトについてはあらかじめレイアウト図を用意しており、事前にスタッフ全員で朝

礼を行ったので問題なくスムーズに資機材の配置ができました。(8:00~9:00)

2) 避難者受け入れ訓練

- ・あらかじめ用意した入所登録票に入場者全員に所定項目を記載してもらいましたが、同時に10人程度記載できるスペースと筆記用具を準備していたので、特に混雑なく受け入れ登録ができました。
- ・避難者待機場所には椅子を30脚程度配置しておきましたが、一時的に満席になりはしたもののその数量で十分でした。

3) 「避難所生活での心構え」説明会

(参考2「避難所生活での心構え説明会での質疑応答まとめ」を参照ください)

- ・20~30人単位のグループで説明会を行い、特に避難待機者を長時間待たせるようなことは発生せず、比較的スムーズに流れていました。
- ・主テーマとして簡易トイレについて説明が行われましたが、質問も多く、トイレへの関心が高いことがうかがえました。(別紙、「避難所生活での心構え説明会質疑応答」を参照ください)
- ・避難所での生活や防災備品についてはもっと多くのことを知りたいという意見がありました。今後は、来場後の催し内容をもっと増やしてもよいと思われます。

4) 全体・その他

- ・当初最も懸念していたことは、大人数の集中的な来場による会場の混乱でしたが、適度な来場数であったため大きな混乱は無く、スムーズな流れを維持して進行させることができました。スペースは空間が十分あり、まだ今回の2倍程度の入場者を受け入れることは可能だと思います。また、空きスペースを活用して希望者の個別訓練を行う余裕もあることがわかりました。
- ・来場された皆様には、説明会終了後、茅ヶ崎市より支給していただいた非常食を自治会ごとに差し上げました。矢畑自主防災会では、それ以外に簡易携帯トイレ(凝固剤・廃棄用袋)を1人1回分差し上げました。これにより防災備品備蓄の意識向上に役立つことを期待しています。
- ・今回の訓練についてのアンケートを矢畑、浜之郷各自主防災会にてそれぞれ行いました。

避難所への避難訓練に関する矢畑自治会のアンケート結果では、84%の人が「大変役に立つ」、または「役に立つ」と回答しました。また、33%の人が「避難を体験できてよかった」、20%の人が「避難所を体験できてよかった」、20%の人が「もっと多くの人が参加すべき」、18%の人が「実際に利用するかもしれない」と回答し、訓練に参加した多くの人が肯定的な意見でした。

一方、浜之郷自治会のアンケート結果では、122人中45人の人が自治会単独訓練がよいという意見でした。

また、全般的な意見としては、「参加してよかった」、「もっと多くの人に参加してほしい」、「防災訓練は必要だと思った」、「トイレの説明会はよかった」、「訓練を災害時役立てたい」などの肯定的な感想が多くみられました。

- ・今後の課題となる意見としては、「避難所についてもっと詳しく知りたい」、「避難所の場所が遠い」、「災害時避難できるか不安」、「声が聞こえづらかった」、「防災備品を展示してほしい」、「自治会員以外の人の訓練も検討してほしい」、「開催日は連休を外してほしい」、「実技訓練をやってほしい」、「地震と水害を区別して訓練してほしい」などがありました。

5) 防災減災部会アンケート結果（参考3「アンケート結果」を参照ください）

防災減災部会メンバーのうち10名からアンケート結果をいただき、つぎの結果になりました。

- ・全般については8名が「大変満足できる結果だった」または「多少の問題はあったが満足できる結果だった」と回答しました。（2名は無回答）
- ・避難所準備、及び避難者受け入れについては10名が、また避難所説明会については9名が「大変満足できる結果だった」または「多少の問題はあったが満足できる結果だった」と回答しました。
- ・市との連携については7名が「大変満足できる結果だった」または「多少の問題はあったが満足できる結果だった」と回答し、「市とは事前に十分打ち合わせた結果連携は良好だった。」「市配備職員は一生懸命に対応してくれた。」という意見がありました。一方、2名があまり満足できなかったと回答し、「市からの指示、意見をもう少しほしい。」「市と情報伝達できない場面もあった。」という意見がありました。
- ・地域住民の参加については「十分満足」が0名、4名が「参加人数をもう少し増やしたい」、5名が「内容を見直して参加人数を増やしたい」と回答しました。また、2名が避難所での訓練は毎年でなくてもよいと回答しました。
- ・来年度の訓練についてはつぎのとおり回答結果で、避難訓練、および合同訓練は毎年やるかどうかについても検討する必要がありそうです。

来年度も同様な内容で行いたい	2
来年度は内容を追加または変更して行いたい	6
避難所訓練は毎年でなくてもよい	2
来年度は合同訓練でなく自治会単独で行いたい	2
合計	12

最後に、避難所における心構え説明会の開催を快くお引き受け頂いた茅ヶ崎市防災対策課、配備職員の皆様、各自治会自主防災会の皆様に厚くお礼申し上げます。

表1. 1 避難所別参加者（人）

避難所	担当自治会	自治会	合計	防災リーダー	民生委員	地域住民他	市配備職員	市防災対策課	学校
鶴嶺中学校	矢畑	円蔵	13	3	0	10	5	1	0
		矢畑	135	17	4	114			
		浜之郷	94	7	0	87			
		アイランズ	3	3	0	0			
		小計	245	30	4	211	6		
鶴嶺小学校	浜之郷	矢畑	60	10	2	48	6	1	2
		浜之郷	80	11	1	68			
		下町屋	4	2	1	1			
		TBS	29	20	2	7			
		ホームタウン	3	1	0	2			
		小計	176	44	6	126	7		
浜之郷小学校	西久保	円蔵	3	0	0	3	5	1	1
		西久保	39	9	3	27			
		浜之郷	3	2	0	1			
		小計	45	11	3	31	6		
円蔵中学校	円蔵	円蔵	38	3	1	34	6	1	0
		小計	38	3	1	34	7		
円蔵小学校	円蔵	円蔵	38	3	1	34	5	1	0
		サニータウン	18	10	1	7			
		小計	56	13	2	41	6		
鶴が台中学校	円蔵	円蔵	3	1	0	2	6	2	0
		小計	3	1	0	2	8		
鶴が台小学校	円蔵	円蔵	31	1	0	30	5	1	0
		西久保	2	1	0	1			
		小計	33	2	0	31	6		
合計			596	104	16	476	38	8	3
							46		

表1. 2 自治会別参加者（人）

	合計	防災リーダー	民生委員	地域住民
円蔵	126	11	2	113
矢畑	195	27	6	162
西久保	41	10	3	28
浜之郷	177	20	1	156
下町屋	4	2	1	1
TBS	29	20	2	7
サニータウン	18	10	1	7
ホームタウン	3	1	0	2
アイランズ	3	3	0	0
合計	596	104	16	476

参考1. 訓練写真



参考2. 避難所生活での心構え説明会での質疑応答まとめ（提供茅ヶ崎市防災対策課）

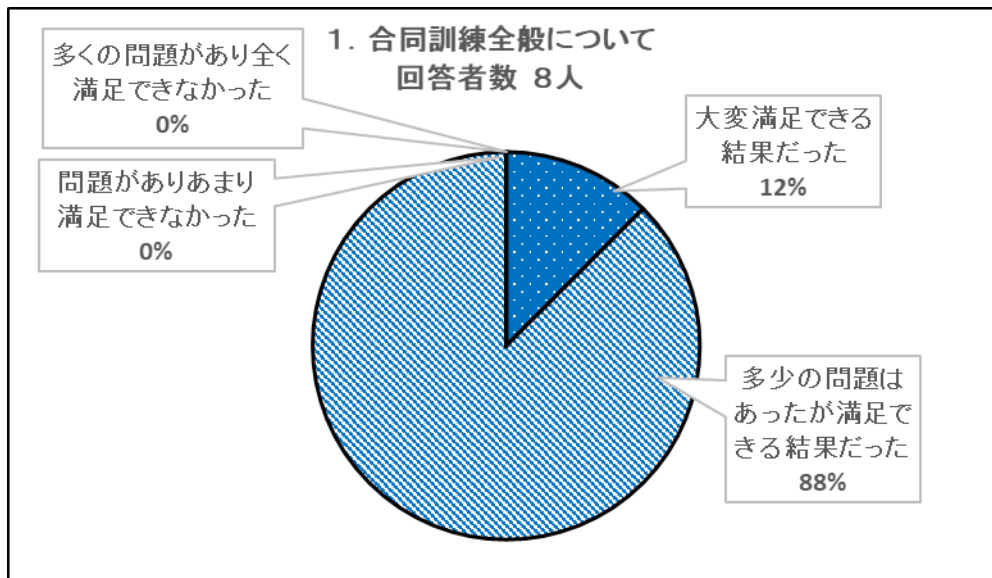
【 質問 】

- ①ペットの避難場所について、ペット専用の場所は用意されるのか。
- ②避難所の物資、例えば毛布などは避難者の人数を想定した備蓄数となっているのか。
- ③地域住民も含めた、避難所の運営に関わる人などの動きが分かるような資料は、市で作成していますか。
- ④スマホを充電するための充電器は、備蓄されていますか。
- ⑤避難所に上履きの備蓄はあるのか。
- ⑥簡易トイレの凝固剤は、こういった場所でいくらくらいで購入ができますか。
- ⑦凝固剤の使用期限はどのくらいか。
- ⑧トイレの凝固剤1袋で何回使用可能と想定しているか。
- ⑨凝固剤を使用した排泄物は、どこに捨てればよいか。
- ⑩下水道が稼働した後は、凝固させた排泄物をトイレに流してよいか。

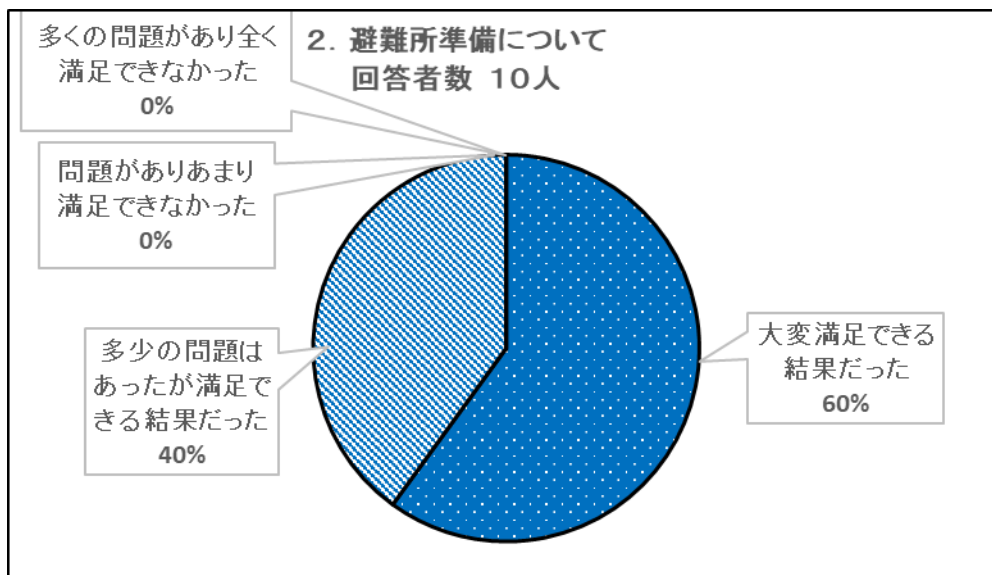
【 回答 】

- ①避難されてこられる方の中には、動物が苦手な方やアレルギーの方もいることが想定されることから、ペットのためのスペースを避難される方が留まるスペースとは別に、指定させていただくなどの対応を取らせていただくことになると思います。
- ②避難される方の人数によっては、全ての避難者に行き渡る数量の物資が備蓄されていない場合もあります。極力、各自にて物資を備蓄したり、避難所に持参するなどの対策をお願いしたい。
- ③市のホームページに、各校ごとに避難所運営マニュアルを掲載しているので、参考としてください。
- ④スマホの充電器は、市では備蓄しておりません。
- ⑤上履きの備蓄はありませんので、可能な限りご自身にて持参をお願いします。
- ⑥ホームセンターなどで購入可能です。100円ショップなどでも購入可能のようです。
- ⑦4～5年程度のものが多いと思われます。
- ⑧通常は1～2回程度が目安ですが、家族でご使用される場合はもう少し回数を増やして利用は可能かと思われます。
- ⑨普段使用しているごみ集積場が利用できるのであれば、燃えるごみとして捨ててください。
- ⑩下水に詰まってしまうので、流さないでください。燃えるごみとして捨ててください。

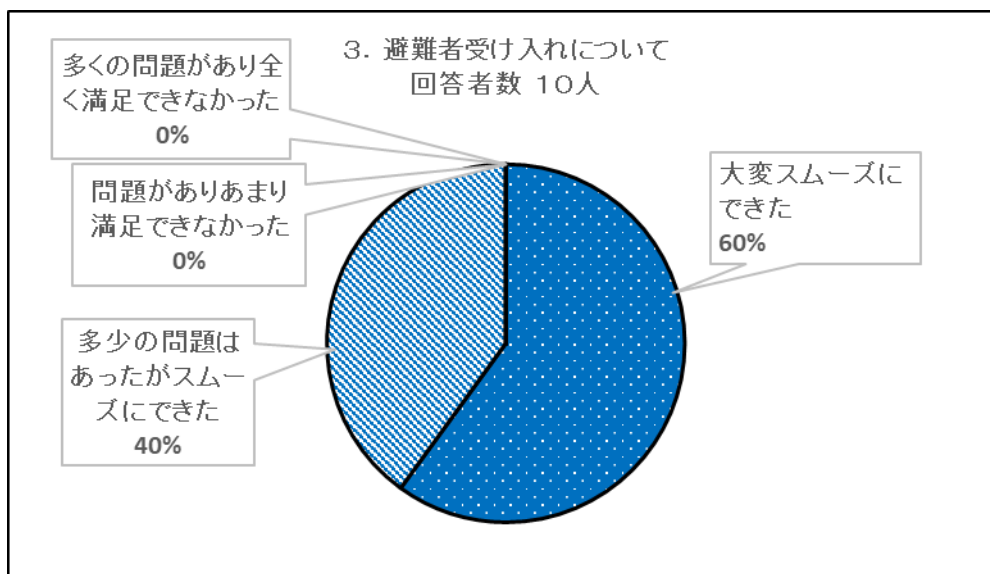
参考3. アンケート結果



鶴中には230人程度参集したが大きな混乱なくできた。 1
連休のため参加者が少なかった。 1
備品の説明はトイレだけでは物足りなかった。 1
防災倉庫の見学がほしかった。 1
トランシーバーの混信があった。 1

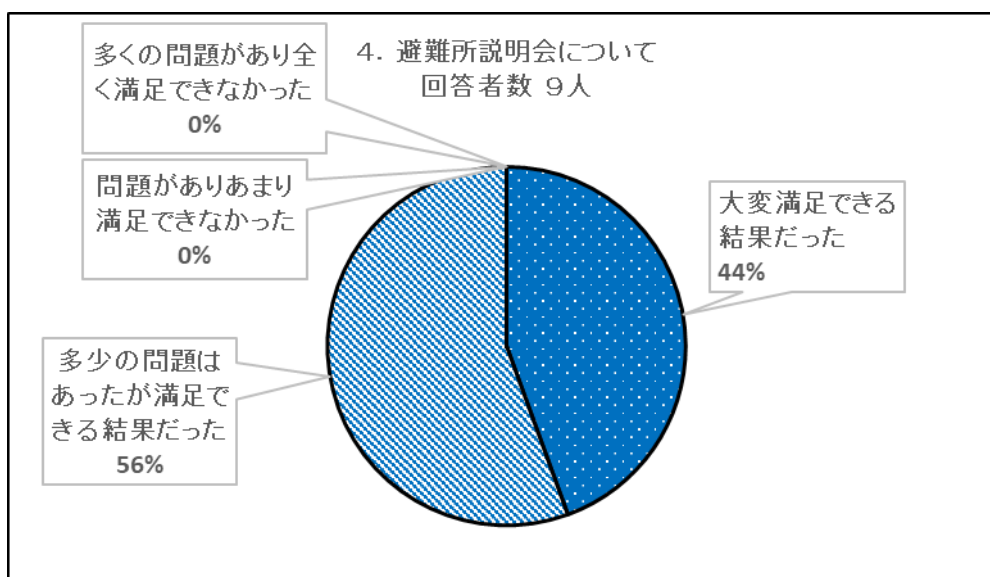


事前に市、学校と十分打ち合わせた結果スムーズにできた。 2
受け付けはスムーズにできた。 1



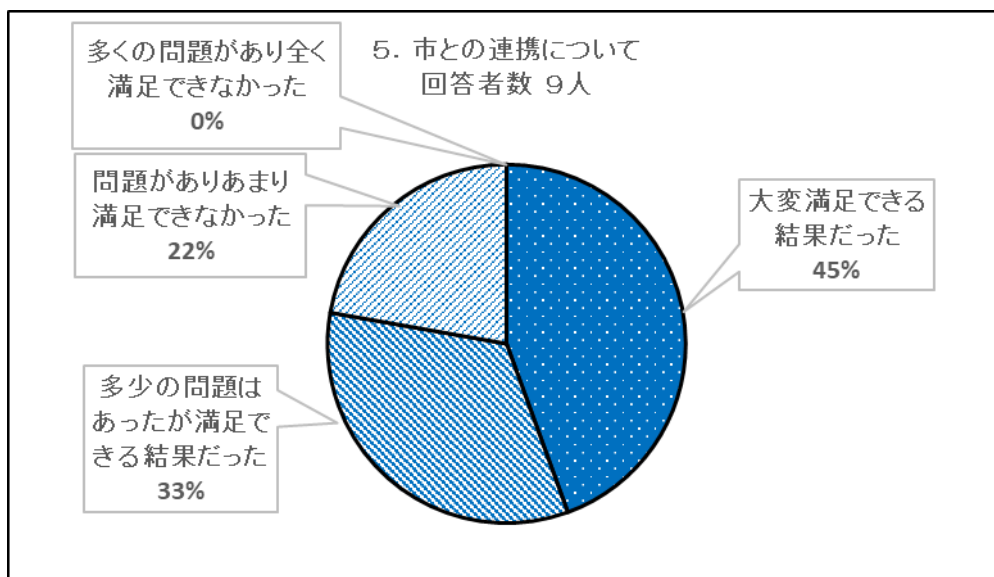
入所登録票の記入で、字が小さい、誤解される部分等の改善が必要
(円蔵小) 鶴嶺高校の応援がありスムーズにできた。

2
1

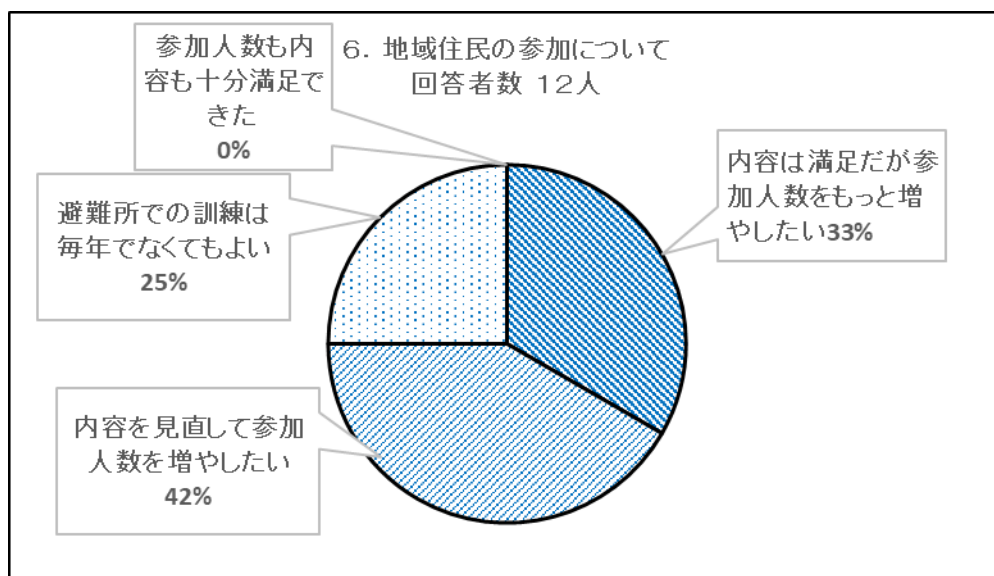


備品の説明は非常用トイレだけでは物足りなかった。
非常用トイレは自治会でも何度も紹介している。
説明会を行う配備職員には好感が持てた。

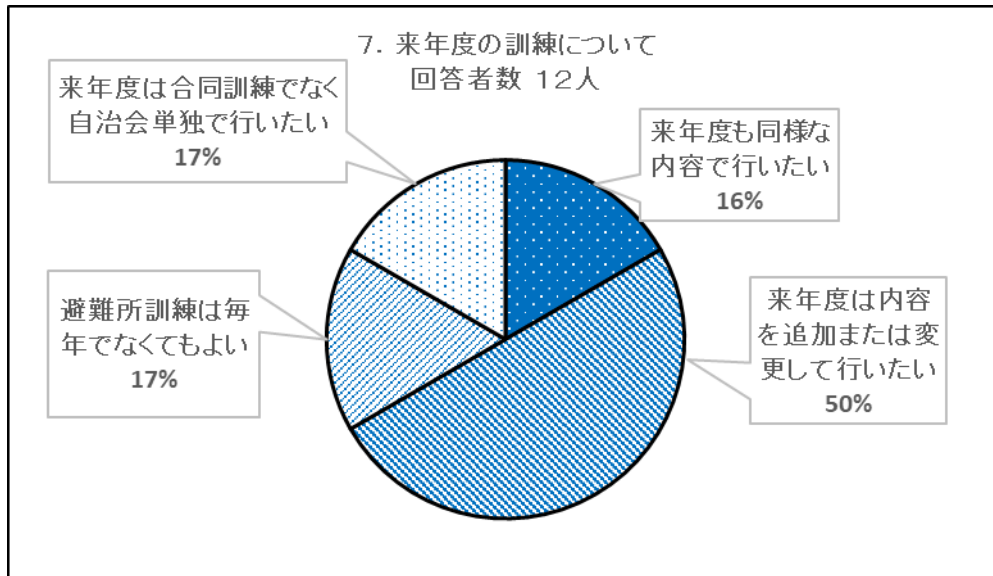
1
1
1



- 市からの指示、意見をもう少しほしい。 2
- 市とは事前に十分打ち合わせた結果連携は良好だった。 1
- 市配備職員は一生懸命に対応してくれた。 1
- 市と情報伝達できない場面もあった。 1



- 安否確認の参加者が少なかったなので、事前周知を強化したい 1
- いざという時避難所に避難する人は訓練必須であることを周知が必要 1
- 子供たちの参加がほぼなかったのが残念だった。 1
- 体育館での内容を充実させ、それにより参加をアピールするのがよ 1



- 参加者増加のためには訓練開催日は連休を避けた方がよい。 1
- 地域住民が顔見知りになるような企画をして防災意識を高めたい。 1
- 自治会単独の訓練に市防災対策課を派遣してほしい。 1